

九州厚生局長 殿

学校法人 福岡大
開設者名 理事長 鎌田 迪

福岡大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	89.8人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	366人	88人	454人	看護補助者	48人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	0人	10.0人	理学療法士	22人	臨床検査技師	75人
薬剤師	51人	1人	52.0人	作業療法士	9人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	38人	0人	38.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	985人	5人	990.0人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	2人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	1人	1人	2.0人	歯科技工士	1人	事務職員	136人
管理栄養士	11人	1人	12.0人	診療放射線技師	43人	その他の職員	31人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	741.8人	5.7人	747.5人
1日当たり平均外来患者数	1,175.8人	53.5人	1,229.3人
1日当たり平均調剤数			1,128剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	5人
食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	19人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経皮的肺がんラジオ波焼灼療法	0人
脂肪萎縮症に対するレプチン補充療法 脂肪萎縮症	2人
インスリン依存状態糖尿病の治療としての心停止ドナー臍島移植	0人
慢性心不全に対する和温療法 慢性心不全	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	44人	・膿疱性乾癬	18人
・多発性硬化症	50人	・広範脊柱管狭窄症	25人
・重症筋無力症	85人	・原発性胆汁性肝硬変	54人
・全身性エリテマトーデス	135人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	86人
・再生不良性貧血	17人	・混合性結合組織病	17人
・サルコイドーシス	49人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	45人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	81人	・網膜色素変性症	33人
・特発性血小板減少性紫斑病	46人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	15人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	246人	・神経線維腫症	37人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	69人	・ライソゾーム病	7人
・クローン病	130人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	187人	・球脊髄性筋委縮症	1人
・アミロイドーシス	0人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	11人
・後縦靭帯骨化症	96人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	55人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	11人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	44人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	74人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	泌尿器、乳腺、外科病理、腎、皮膚、消化器、乳腺画像、脳外科、肺癌の各カンファレンス 計160回
部 検 の 状 況	部検症例数 26例 / 部検率 8.40%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者の化学療法—新しい全身状態の評価基準および薬物動態に基づく治療戦略	高松 泰	腫瘍・血液・感染症内科	1,200,000	補 日本学術振興会
乳癌患者に特有な腸管細菌叢の分子疫学的解明	高田 徹	腫瘍・血液・感染症内科	1,000,000	補 日本学術振興会
成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロン α とジドブジン併用療法の有用性の検証	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	1,200,000	補 厚生労働省
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	800,000	補 厚生労働省
ボルテゾミブによる成人T細胞白血病/リンパ腫(ATL)救済療法の医師主導治験	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	13,000,000	補 厚生労働省
HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科	150,000	補 厚生労働省
ウイルスベクターを用いた腫瘍標的化抗体の作製と腫瘍治療法の開発	田中 俊裕	腫瘍・血液・感染症内科	800,000	補 日本学術振興会
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	24,750,000	補 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	1,000,000	補 厚生労働省
脂肪萎縮症に関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	1,000,000	補 厚生労働省
生活習慣病創薬としての新規選択的アンドロゲン受容体修飾剤S42に関する研究	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科	4,300,000	補 日本学術振興会
新規アポA-I 模倣ペプチド(FAMP):新たな動脈硬化の診断・治療法の確立.	朔 啓二郎	循環器内科	1,500,000	補 独立行政法人日本学術振興会
新規可溶性脂質輸送体を標的とした動脈硬化関連疾患の診断とその治療戦略	上原 吉就	循環器内科	800,000	補 独立行政法人日本学術振興会
HDL機能解析・測定方の確立と臨床応用.	今泉 聡	循環器内科	1,500,000	補 独立行政法人日本学術振興会
ウイルス性肝炎における最新の治療法の標準化を目指す研究	向坂 彰太郎	消化器内科	2,000,000	補 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	向坂 彰太郎	消化器内科	400,000	補 厚生労働省
先天性横紋筋融解症特異的iPS細胞を用いた新規疾患モデルの作成と治療法の開発	安野 哲彦	腎臓・膠原病内科	1,600,000	補 日本学術振興会
IgG4関連腎臓病における免疫応答の解析	中島 衡	腎臓・膠原病内科学	1,600,000	補 日本学術振興会
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	渡辺 憲太朗 (研究分担者)	呼吸器内科	2,000,000	補 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
呼吸不全に関する調査研究班	渡辺 憲太郎 (研究分担者)	呼吸器内科	600,000	補	厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究班	渡辺 憲太郎 (研究協力者)	呼吸器内科	300,000	補	厚生労働省
HB-EGFを中心とした肺腺癌・間質性肺炎新規治療薬開発	藤田 昌樹	呼吸器内科	1,300,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者	坪井 義夫	神経内科	100,000	補	厚生労働省
パーキンソン病関連遺伝子DCTN1の機能	坪井 義夫	神経内科	600,000	補	厚生労働省
アルツハイマー病前駆段階の血清学的診断とビタミンDによる進行阻止法の開発	坪井 義夫	神経内科	100,000	補	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	坪井 義夫	神経内科	1,600,000	補	厚生労働省
Perry症候群の診断及び治療法の更なる推進	坪井 義夫	神経内科	1,000,000	補	厚生労働省
性同一性障害に対するホルモン療法が心理・認知機能に及ぼす影響についての縦断的研究	永井 宏	精神神経科	400,000	補	文部科学省
児童青年精神科領域における診断・治療の標準化に関する研究	西村 良二	精神神経科	700,000	補	厚生労働省
新規遺伝子改変動物とiPSを利用した分子病態に基づくてんかんの革新的治療開発	廣瀬 伸一	小児科	12,600,000	補	日本学術振興会
新規モデル動物(キックイン)を用いててんかんの発症阻止に挑む	廣瀬 伸一	小児科	600,000	補	日本学術振興会
脳形成異常を主とする発達機能障害の病因・病態と治療に関する研究	廣瀬 伸一(分担)	小児科	2,000,000	補	厚生労働省
希少難治性てんかんに関する調査研究	廣瀬 伸一(分担)	小児科	3,000,000	補	厚生労働省
重症・難治性急性脳症の病因解明と診療確立に向けた研究	廣瀬 伸一(分担)	小児科	800,000	補	厚生労働省
JNK抑制による川崎病冠動脈瘤に対する退縮治療法の開発	吉兼 由佳子	小児科	3,900,000	補	日本学術振興会
HCN2遺伝子異常により発症する熱性けいれんのiPS細胞を用いた病態解明	中村 友紀	小児科	1,560,000	補	日本学術振興会
小児交互性片麻痺の分子病態の解明	石井 敦士	小児科	1,200,000	補	日本学術振興会
患者iPS細胞とモデルラットによる女性に限定されるてんかんと精神遅滞の病態研究	日暮 憲道	小児科	2,500,000	補	日本学術振興会
最新手術手技修練を支援する外科手術教育用ヒューマノイド作成	岩崎 昭憲	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	5,460,000	補	文部科学省
肺癌における変異KRAS制御末梢分泌型micro RNAの解析	吉田 康浩	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	2,600,000	補	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
類上皮肉腫における肉腫幹細胞の同定とそれを標的とした革新的治療法の確立	西尾 淳	整形外科	1,000,000	補 臨床医学振興財団研究助成金
低悪性度中心型骨肉腫の染色体・分子細胞遺伝学的特性の解析	西尾 淳	整形外科	160,000	補 がん研究振興財団海外派遣研究助成金
酸化チタンと超音波を併用した新しい口腔癌治療法の開発	西尾 淳(分担)	整形外科	870,000	補 福岡大学推奨研究プロジェクト助成金
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	井上 亨	脳神経外科	500,000	補 厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	中山 樹一郎	皮膚科	850,000	補 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	中山 樹一郎	皮膚科	900,000	補 厚生労働省
卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	宮本 新吾	産婦人科	2,750,000	補 文部科学省、橋渡し研究
卵巣原発の難治性明細胞腺癌治療におけるHB-EGFの標的分子としての意義	宮本 新吾	産婦人科	800,000	補 文部科学省
HB-EGF標的がん治療の適応を診断する分子マーカーの同定	宮本 新吾	産婦人科	384,000	補 財団法人臨床医学振興財団平成24年度研究助成金
HB-EGF標的治療薬BK-UMの感受性に反応するmicro RNAの探索・同定	宮本 新吾	産婦人科	2,000,000	補 高松宮妃癌研究基金研究助成金
子宮内膜症の線維化・癌化における治療標的分子としてのRCASIの意義	城田 京子	産婦人科	1,400,000	補 文部科学省
婦人科悪性腫瘍による難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法(CART)の有用性の検討と基礎データの解析	植田 多恵子	産婦人科	300,000	補 公益信託九州大学医学部婦人科学産科学研究助成基金
アデノウイルス眼感染症の新しい薬物治療の開発と臨床応用に関する研究	内尾 英一	眼科	1,300,000	補 文部科学省
急性未熟児網膜症に対する抗血管内皮細胞増殖因子療法の臨床的検討	林 英之	眼科	1,300,000	補 文部科学省
対話型進化論的計算による人工内耳フィッティング技術の開発と解析	中川 尚志	耳鼻咽喉科	4,810,000	補 厚生労働省
科学研究費補助金 基盤研究(C): T2*補正水脂肪分離MR画像による慢性肝疾患の評価: 鉄と脂肪の定量とその臨床応用	吉満 研吾	放射線医学教室	900,000	補 日本学術振興会
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業: 身体活動の健康科学に関する総合研究	吉満 研吾	放射線医学教室	1,000,000	補 文部科学省
酸化チタンと超音波を併用した新しい口腔癌治療法の開発	高橋 宏昌	歯科口腔外科	1,700,000	補 独立行政法人科学技術振興機構産学連携展開部研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)探索タイプ
フラーレンによる遺伝子導入を用いた変形関節症の新規治療法の開発	大谷 泰志	歯科口腔外科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費 研究活動スタート支援
光触媒による癌治療法開発チーム	高橋 宏昌	歯科口腔外科	870,000	補 福岡大学推奨研究プロジェクト研究チーム
酸化チタン医療利用研究チーム	高橋 宏昌	歯科口腔外科	351,000	補 福岡大学領域別研究チーム

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線誘発口腔粘膜障害に対するロペライド含嗽の臨床的有用性の検討 (Clinical Evaluation of a Loperamide Oral-rinse Solution for Radiation Oral Mucositis)	高橋 宏昌	歯科口腔外科	100,000	補 財団法人福岡県すこやか健康事業団 平成24年度がん研究助成金
インフルエンザにおける麻黄湯の自然免疫賦	鍋島 茂樹	総合診療部	1,700,000	補 文部科学省
微小肺腺癌の臨床病理学的検討	鍋島 一樹	病理部	980,000	補 平成24年度福岡大学推奨研究プロジェクト研究チーム
MT1-MMPおよびMT1-MMPと相互作用する分子群によるがんの悪性形質獲得の分子機序の解明と臨床応用	鍋島 一樹	病理部	950,000	補 平成24年度東京大学医科学研究所共同研究拠点事業
微小乳頭状および簇出型浸潤様式の機序に関する包括的研究	鍋島 一樹	病理部	2,200,000	補 文科省科学研究費補助金 基盤研究C
中皮腫診断における体腔液細胞診の意義	鍋島 一樹	病理部	600,000	補 環境省平成24年度石綿関連疾患に係る医学的所見の解析調査業務(入札事業)

計 67

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Oncol (30(14):1635-40, 2012)	Prognostic index for acute- and lymphoma-type adult T-cell leukemia/lymphoma.	勝屋 弘雄	腫瘍・血液・感染症内科
Cancer Lett (317(2):218-225, 2012)	Targeting Bcl-2 family proteins in adult T-cell leukemia/lymphoma: in vitro and in vivo effects of the novel Bcl-2 family inhibitor ABT-737.	石塚 賢治	腫瘍・血液・感染症内科
Virchows Archiv (462(1):83-93, 2013)	Expression and role of GLUT-1, MCT-1, and MCT-4 in malignant pleural mesothelioma.	茂木 愛	腫瘍・血液・感染症内科
Scand J Infect Dis (45(3):203-212, 2013)	Presence of both heterogeneous vancomycin-intermediate resistance and β -lactam antibiotic-induced vancomycin resistance phenotypes is associated with the outcome in methicillin-resistant Staphylococcus aureus bloodstream infection.	高田 徹	腫瘍・血液・感染症内科
Endocrinology (53(7):3405-15, 2012)	Dihydrotestosterone Inhibits Lectin-Like Oxidized-LDL Receptor-1 Expression in Aortic Endothelial Cells via a NF- κ B/AP-1-Mediated Mechanism.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
J Biol Chem (287(28):23852-23863, 2012)	Perilipin 5, a lipid droplet-binding protein, protects heart from oxidative burden by sequestering fatty acid from excessive oxidation.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Mol Cell Endocrinol (365:36-43, 2013)	Identification of endocrine disrupting chemicals activating SXR-mediated transactivation of CYP3A and CYP7A1.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Mod Rheumatol March, 2013	Reduced carotid intima-media thickness in systemic lupus erythematosus patients treated with cyclosporine A.	柳瀬 敏彦	内分泌・糖尿病内科
Endocrinology (154:1260-1270, 2013)	Anagliptin, a DPP-4 Inhibitor, Suppresses Proliferation of Vascular Smooth Muscles and Monocyte Inflammatory Reaction and Attenuates Atherosclerosis in Male apo E-Deficient Mice.	野見山 崇	内分泌・糖尿病内科
Clinica Chimica Acta (415:250-254, 2013)	Clinical application of the different cross-reactivities of anti-insulin antibodies to insulin lispro to evaluate endogenous insulin secretion.	吉田 亮子	内分泌・糖尿病内科
Diabetol Metab Syndr (5:10, 2013)	The efficacy of incretin therapy in patients with type 2 diabetes undergoing hemodialysis.	寺脇 悠一	内分泌・糖尿病内科
J Renin Angiotensin Aldosterone Syst. (13(1):107-112 2012)	Effect of fixed-dose losartan/hydrochlorothiazide on brain natriuretic peptide in patients with hypertension.	志賀 悠平	循環器内科
J renin Angiotensin Aldosterone Syst. (13(1):76-83 2012)	Abilities of candesartan and other AT1 receptor blockers to impair angiotensin II-induced AT1 receptor activation after washout.	木谷 義博	循環器内科
INTERNAL MEDICINE (51(1):333 2012)	Giant Thrombus Filling the Pulmonary Trunk.	中村 歩	循環器内科
Circulation Journal (76(4):1024-1043 2012)	Guidelines for Smoking Cessation (JCS2010) - Digest Version- JCS Joint Working Group.	朔 啓二郎	循環器内科
Circulation Journal (76(6):1335-1344 2012)	Lifestyle changes through the use of delivered meals and dietary counseling in a single-blind study. The STYLIST study.	野田 慶太	循環器内科
Circulation Journal (76(6):1469-1475 2012)	Clinical Significance of Flow-Mediated Dilation, Brachial Intima-Media Thickness and Pulse Wave Velocity in Patients With and Without Coronary Artery Disease.	小吉 里枝	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Therapeutic Research (33(2):221-228 2012)	Pleiotropic Effects of High-dose losartan on Uricosuria and Increased High Molecular Weight Adiponectin in Hypertensive Patients.	福田 佑介	循環器内科
Circulation Journal (76(8):1980-1986 2012)	Cholesterol Metabolism in Patients With Hemodialysis in the Presence or Absence Coronary Artery Disease.	福島 幹生	循環器内科
Journal of Cardiology (60:111-118 2012)	Comparison of the efficacy and safety of statin and statin/ezetimibe therapy after coronary stent implantation in patients with stable angina.	有村 忠聰	循環器内科
Intern Med. (51(11):1437-1438 2012)	Right aortic arch with Kommerell's diverticulum using 64-MDCT.	志賀 悠平	循環器内科
J Renin Angiotensin Aldosterone Syst. (13(3):394-400 2012)	Efficacy and safety of a single-pill fixed-dose combination of high-dose telmisartan/hydrochlorothiazide in patients with uncontrolled hypertension.	志賀 悠平	循環器内科
PLoS One (7(6):e37974 2012)	Small molecules with similar structures exhibit agonist, neutral antagonist or inverse agonist activity toward angiotensin II type 1 receptor.	三浦 伸一郎	循環器内科
Journal of Cardiology (60:503-507 2012)	Effect of intravenous adrenaline before arrival at the hospital in out-of-hospital cardiac arrest.	町田 稔	循環器内科
Clin Exp Hypertens. (34(5):342-9 2012)	Comparison of the efficacy and safety of irbesartan and olmesartan in patients with hypertension (EARTH study).	森井 誠士	循環器内科
Cardiol J (19(6):618-24)	Effects of gender and aging in patients who undergo coronary artery bypass grafting: From the FU-Registry.	清水 知彦	循環器内科
Coron Artery Dis. (23(5):315-21. 2012)	Plasma pentraxin-3 levels are associated with coronary plaque vulnerability and are decreased by statin.	岩田 敦	循環器内科
Intern Med. (2012;51(22):3221-2)	Kawasaki disease with a giant coronary aneurysm.	志賀 悠平	循環器内科
Hypertens Res. (2013 Feb;36(2):134-9)	Unique binding behavior of the recently approved angiotensin II receptor blocker azilsartan compared with that of candesartan.	三浦 伸一郎	循環器内科
Intern Med. (2012;51(23):3301-2)	Aneurysm of the superior mesenteric artery.	福田 佑介	循環器内科
Circulation Journal (76(9):2241-2248 2012)	Reactivity of direct assays for low-density lipoprotein (LDL) cholesterol toward charge-modified LDL in hypercholesterolemia.	張 波	循環器内科
Intern Med (2013;52(5):637-8.)	Epicarditis with late postoperative period pectus excavatum.	矢野 雅也	循環器内科
Intern Med. (2013;52(3):405-6.)	Patent ductus arteriosus detected on 64-multidetector row CT.	永田 濟	循環器内科
Curr Pharm Des. (2013, 19巻17号3065-71)	Chymase inhibitors.	八尋 英二	循環器内科
Curr Pharm Des. (2013, 19巻17号3054-9)	Non-ACE pathway-induced angiotensin II production.	上原 吉就	循環器内科
Curr Pharm Des. (2013, 19巻17号3002-8.)	Class- and molecule-specific differential effects of angiotensin II type 1 receptor blockers.	今泉 聡	循環器内科
Curr Pharm Des. (2013;19(17):2981-7)	Recent progress in molecular mechanisms of angiotensin II type 1 and 2 receptors.	三浦 伸一郎	循環器内科
Hypertens Res. (2013 Mar;36(3):194-5)	How important is it to control nocturnal hypertension with angiotensin II type 1 receptor blockers?	三浦 伸一郎	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol. (2013 Feb;61(2):117-21)	Characteristics of patients and types of lesions in patients with drug-eluting or bare-metal stent implantation in small coronary arteries: from the FU-Registry.	杉原 充	循環器内科
Hepato-Gastroenterology (Vol 59 2264-2268, 2012)	Systemic Chemotherapy Using Carboplatin and 5-Fluorouracil for Extrahepatic Metastasis of Hepatocellular Carcinoma.	平野 玄竜	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol (Vol 27(6):1044-50, 2012)	Limitation of repeated radiofrequency ablation in hepatocellular carcinoma: Proposal of a three (times) × 3 (years) index.	横山 圭二	消化器内科
Hepatology Research (Vol 42(7):658-667,2012)	Late-evening snack with branched-chain amino acids improves liver function after radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	森原 大輔	消化器内科
The Journal of International Medical Research (Vol 40(3)924-933,2012)	Levels of the Oxidative Stress Marker γ -Glutamyltranspeptidase at Different Stages of Nonalcoholic Fatty Liver Disease.	入江 真	消化器内科
臨床と研究 (Vol 89(10) 93-95(1403-1405),2012)	当院における潜在性HBV再活性化症例の検討	早田 哲郎	消化器内科
Nephrol Dial Transplant. (27:3899-3907,2012)	Macrophage impairment produced by Fc receptor gamma deficiency plays a principal role in the development of lipoprotein glomerulopathy in concert with apoE abnormalities.	伊藤 建二	腎臓・膠原病内科
Intern Med. (51(23):3247-52,2012)	Total and HMW adiponectin is independently associated with B-type natriuretic peptide and anemia in chronic hemodialysis patients.	安部 泰弘	腎臓・膠原病内科
Respir Investig (Vol50 88~97, 2012)	Rapid decrease in forced vital capacity in patients with idiopathic pulmonary upper lobe fibrosis.	渡辺 憲太郎	呼吸器内科
J Infect Chemother (Vol18(2)668~674, 2012)	The clinical efficacy and safety of micafungin-itraconazole combination therapy in patients with pulmonary aspergilloma.	藤田 昌樹	呼吸器内科
Asian Pac J Cancer Prev (Vol13(8)4187~4190, 2012)	Efficacy of aprepitant in patients with advanced or recurrent lung cancer receiving moderately emetogenic chemotherapy.	内野 順治	呼吸器内科
Asian Pac J Cancer Prev (Vol13(11)5551~5556, 2012)	A new cancer cell detection method using an infectivity-enhanced adenoviral vector.	内野 順治	呼吸器内科
Respirology (Vol18(2)278~283, 2013)	The Prognostic Significance of Fibroblastic Foci in Usual Interstitial Pneumonia and Nonspecific Interstitial Pneumonia.	原田 泰志	呼吸器内科
Eur Respir J (Vol 41(1)243~245, 2013)	Pleuroparenchymal fibroelastosis as a manifestation of chronic lung rejection?	廣田 貴子	呼吸器内科
SARCOIDOSIS (published online Mar.13,2013 p162~183)	Chapter7: Physiological Manifestation in Pulmonary Sarcoidosis.	渡辺 憲太郎	呼吸器内科
The JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS (Vol 66(1)37~43, 2013)	生体肺移植後に発症した肺アスペルギルス症に対して抗真菌薬Liposomal amphotericin β 吸入療法が奏功した一例	藤田 昌樹	呼吸器内科
Respirol (18(2):278-83, 2013)	Prognostic significance of fibroblastic foci in usual interstitial pneumonia and non-specific interstitial pneumonia.	原田 泰志	呼吸器内科
Respir Investig (50(3):88-97, 2012)	Rapid decrease in forced vital capacity in patients with idiopathic pulmonary upper lobe fibrosis.	渡辺憲太郎	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳卒中 (34(5):298-303,2012)	ラクナ梗塞患者における冠動脈カテーテルインターベンションが必要であった無症候性冠動脈疾患の有病率	福原 康介	神経内科・健康管理科
BRAIN and NERVE:神経研究の進歩 (64(11):1347-1351,2012)	中枢神経系原発悪性リンパ腫における髄液中IL-10濃度の診断的意義に関する一考察	三嶋 崇靖	神経内科・健康管理科
Dement Geriatr Cogn Dis Extra. (2:298-303,2012)	Changes in phospholipid composition of erythrocyte membrane in Alzheimer's disease.	合馬 慎二	神経内科・健康管理科
神経内科 (76巻(5)519-520,2012)	アミオダロンによる末梢神経障害の電子顕微鏡所見	深江 治郎	神経内科・健康管理科
Clin Neurol Neurosurg. (114巻(7):1091-1094,2012)	Longitudinal myelitis caused by visceral larva migrans associated with Toxocara cati infection: case report.	深江 治郎	神経内科・健康管理科
Intern Med. (51:3307-3308,2012)	MRI 35 years after carbon monoxide intoxication.	三嶋 崇靖	神経内科・健康管理科
臨床神経学 (52:1375,2012)	プリオン病に対する治療法の開発	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Exp Neurobiol. (21:123-128,2012)	Enviromental-genetic interactions in the pathogenesis of Parkinson's disease.	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
日本神経治療学会治療指針作成委員会(神経治療学) (29:71-109,2012)	標準的神経治療 Restless legs症候群	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
アルタ出版.東京 (pp.32-38,2012)	Parkinson's Disease 2012 パーキンソン病における環境-遺伝子因子の交互作用	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
医学書院 東京. (Pp.890-892,2012)	今日の神経疾患 治療指針第2版.標準:水澤英洋ら.一酸化中毒	三嶋 崇靖	神経内科・健康管理科
アルタ出版.東京. (Pp.66-73,2012)	GP.レジデントのためのパーキンソン病テキストブック.山本光利編 パーキンソン病の疫学と環境因子	坪井 義夫	神経内科・健康管理科
Biol.Pharm.Bull.(35(12):2121-7)	Ameliorative Effects of Telmisartan on the Inflammatory Response and Impaired Spatial Memory in a Rat Model of Alzheimer's Disease Incorporating Additional Cerebrovascular Disease Factors.	進藤 太郎	精神神経科
日本社会精神医学会雑誌 (21(2):156-166)	19歳以下の重症自殺企図者の臨床的検討—20代との比較から—	本田 洋子	精神神経科
Phytotherapy Research((7):966-72)	Cholinergic Involvement and Synaptic Dynamin 1 Expression in Yokukansan-mediated Improvement of Spatial Memory in a Rat Model of Early Alzheimer's Disease.	内田 直樹	精神神経科
J Medical Ultrasonics (vol.39(4):235-240,2012)	Four-year experience with prenatal diagnosis of congenital heart defects at a single referral center in Japan with focus on inaccurately diagnosed cases.	吉兼 由佳子	小児科
Epilepsy Res (vol.102;122-125,2012)	KCNQ2 abnormality in BECTS: Benign childhood epilepsy with centrotemporal spikes following benign neonatal seizures resulting from a mutation of KCNQ2.	石井 敦士	小児科
Epilepsy Res (vol.99;28-37,2012)	PCDH19 mutation in Japanese females with epilepsy.	日暮 憲道	小児科
Cancer Science (103(6):1165-1171, 2012)	Significance of epithelial growth factor in the epithelial-mesenchymal transition of human gallbladder cancer cells.	佐々木 隆光	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
British Journal of Medicine & Medical Research (2(2):132-141, 2012)	Dexamethasone as a Means Not Only for Controlling Vascular Pain Caused by the Administration of Oxaliplatin Via the Peripheral Vein But Also for Controlling Oxaliplatin-Induced Hypersensitivity Reactions.	吉田 陽一郎	消化器外科
Free Radic Biol Med. (53(3):464-472, 2012)	Tumor growth inhibition by sonodynamic therapy using a novel sonosensitizer.	水流 弘文	消化器外科
Surgery Today (42(4):363-367, 2012)	Clinical characteristics of 12 cases of appendiceal diverticulitis: a comparison with 378 cases of acute appendicitis.	山名 一平	消化器外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci (19:578-585, 2012)	New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholecystitis in revised Tokyo guidelines.	山下 裕一	消化器外科
Hepato-Gastroenterology (59(114):574-577, 2012)	Pancreatic Injury in Children: Review of 7 Cases and the Pertinent Literature.	山名 一平	消化器外科
Lung Cancer (77:495-500, 2012)	Clinicopathological characteristics of subcentimeter adenocarcinomas of the lung.	加藤 文章	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
International Society of Oncology and BioMarkers. (33:2365-2370, 2012)	Serum level of HE4 is closely associated with pulmonary adenocarcinoma progression.	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Surg Today. (Feb;42(3):303-5, 2012)	Off-the-job training for VATS employing anatomically correct lung models.	大淵 俊朗	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Ann Surg Oncol. (19:728-33, 2012)	Sentinel node navigation surgery by thoracoscopic fluorescence imaging system and molecular examination in non-small cell lung cancer.	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Interactive Cardio Vascular and Thoracic Surgery. (15: 854-858, 2012)	Surgical outcomes of lung cancer measuring less than 1cm in diameter.	濱武 大輔	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. (Aug;60(8):489-93, 2012)	Frequency of multiple primary cancers in the lung and other organs in hemodialysis patients.	大淵 俊朗	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
J Thorac Cardiovasc Surg. (2012 Sep;144(3):710-5.)	Outcome of living-donor lobar lung transplantation using a single donor.	白石 武史	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg (18:89-94, 2012)	Thoracoscopic segmentectomy with intraoperative evaluation of sentinel nodes for stage I non-small cell lung cancer.	諸鹿 俊彦	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Tumour Biol. (33:103-9, 2012)	Splice variant HE4-V3 expression is associated with favorable prognosis in pulmonary adenocarcinoma.	徳石 恵太	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Euro J Cardiothorac Surg. (42:83-8, 2012)	Thoracoscopic segmentectomy for T1 classification of non-small cell lung cancer: A single center experience.	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Exp Ther Med. (4:1087-1091, 2012)	Number of metastasis-positive lymph node stations is a simple and reliable prognostic factor following surgery in patients with esophageal cancer.	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本呼吸器外科学会 (26(6):104-112, 2012)	日本呼吸器外科学会総合診療対策委員会報告	岩崎 昭憲	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
乳癌の臨床 (27. 751-758, 2012)	最小乳癌の検出、診断とその治療—九州沖縄地区アンケート集計から—	吉永 康熙	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
胸部外科 (65(1) : 25-28, 2012)	小型肺癌の治療戦略とその成績 -1cm以下の微小肺癌をどうするか	濱武 大輔	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Thorac Surg (94:1324-6, 2012)	Bronchial stump aspergillosis after stapled lobectomy for lung cancer.	徳石 恵太	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Ann Thorac Surg (94:1726-9, 2012)	Successful application of subcutaneous adipose tissue with fibrin glue in conservative treatment of tracheobronchial rupture.	徳石 恵太	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
Hepato-gastroenterology. (59:745-6, 2012)	Successful treatment of esophageal repair with omentum for the spontaneous rupture of the esophagus (Boerhaave's syndrome).	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日気囊疾患誌 (2012 11:153-156)	気胸と好酸球性胸水を合併したイヌ回虫症の1例	桑原 元尚	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本臨床外科学会雑誌 (73:2083-2086, 2012)	術前、原発性乳癌と診断された卵巣癌乳腺転移の1例	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本呼吸器外科学会雑誌 (26:34-38,2012)	非特異的炎症性気道狭窄に対する外科治療	徳石 恵太	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
今日の治療指針医学書院 (305-306, 2012)	縦隔腫瘍	岩崎 昭憲	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
呼吸 (31(10):954-957, 2012)	胸腔鏡手術の進歩と最近の動向	岩崎 昭憲	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
消化器外科 (35(5):582-586, 2012)	呼吸機能検査	岩崎 昭憲	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
小児診療 (75(1); 40-46, 2012)	我が国の肺移植-臓器移植法改定と小児肺移植の展望-	白石 武史	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本気胸嚢胞疾患学会雑誌 (12:115-120, 2012)	重症肺気腫に対する外科療法 —Lung Volume Reduction Surgeryを中心に—	平塚 昌文	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本内科学会雑誌 (101巻1624-1630, 2012)	重症肺気腫に対する外科治療	平塚 昌文	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
日本臨床 (70. 664-667, 2012)	Skin-sparing mastectomy の有用性	榎本 康子	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
乳癌(第2版) 日本臨床 (70:158-161, 2012)	乳癌におけるBmi-1発現.	山下 眞一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
World J Surg (37(2):356-363, 2013)	Image and pathological changes after radiofrequency ablation of invasive breast cancer: A pilot study of nonsurgical therapy of early breast cancer.	吉永 康熙	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
臨床整形外科 (47(4):339-343, 2012)	壮年期白蓋形成不全股に対するCurved Periacetabular Osteotomy (CPO)	中村 好成	整形外科
日本整形外科スポーツ医学会雑誌 (32(2):25-29, 2012)	3次元加速度計を用いた膝前十字靭帯3線維束の動的不安定性の解析—死体膝8膝の検討—	前山 彰	整形外科
Oncology Reports (28:533-538, 2012)	Characterization of giant marker and ring chromosomes in a pleomorphic leiomyosarcoma of soft tissue by spectral karyotyping.	西尾 淳	整形外科
整形外科 (63(7):691-694, 2012)	高度白蓋形成不全に対する寛骨臼回転骨切り術 (curved periacetabular osteotomy) の術後成績	唐島 大節	整形外科
Hip Joint (38:427-431, 2012)	Short stem: Femoral Saving stem と Mayo stem の臨床成績とX 線学的検討	小林 知弘	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hip Joint (38:583-585, 2012)	Curved periacetabular osteotomy (CPO)術後に恥骨偽関節を生じる要因の検討	野村 智洋	整形外科
Hip Joint (38:906-909, 2012)	臼蓋形成不全症にfemoroacetabular impingement (FAI)を伴う症例の検討	中村 好成	整形外科
Hip Joint (38:1086-1090, 2012)	術前股関節適合性がcurved periacetabular osteotomy後の股関節モデリングに与える影響	井田 敬大	整形外科
Hip Joint (38:1141-1144, 2012)	人工股関節全置換術後のfondaparinux 1.5mg 使用における術後出血の検討	黒田 大輔	整形外科
Hip Joint (38:1180-1182, 2012)	セメントレス人工股関節全置換術におけるビタミンK2製剤の有用性	加島 伸浩	整形外科
World Journal of Surgical Oncology (10:132-134, 2012)	FDG PET/CT and MR imaging of intramuscular myxoma in the gluteus maximus.	西尾 淳	整形外科
肩関節 (36(2):547-550, 2012)	広範囲腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術の治療成績	篠田 毅	整形外科
整形外科と災害外科 (61(3):377-380, 2012)	鏡視下腱板修復術におけるTransosseous Equivalent Anchor (Versalok R)の短期臨床成績	轟木 崇也	整形外科
整形外科と災害外科 (61(3):402-405, 2012)	橈骨遠位関節内から骨幹部にかけての骨折に対するプレート固定による治療経験	田中 潤	整形外科
整形外科と災害外科 (61(3):435-438, 2012)	脛骨骨幹部骨折に対して観血的整復を行った髓内釘手術の治療成績	櫻井 真	整形外科
整形外科と災害外科 (61(4):648-650, 2012)	高齢者の脛骨プラトー骨折に対する、Ikizarov創外固定器を用いた治療経験	亀川 史武	整形外科
九州リウマチ (32(2):103-107, 2012)	リウマチ性足関節症に対する鏡視下足関節固定術の治療経験	前山 彰	整形外科
Arthroscopy (28(12):1882-1888, 2012)	The Effect of Screw Position and Number on the Time to Union of Arthroscopic Ankle Arthrodesis.	吉村 一朗	整形外科
Hand Surgery (17(3):405-408, 2012)	Single clubbed finger caused by an enchondroma of the distal phalanx: An unusual clinical presentation.	西尾 淳	整形外科
ANTICANCER RESEARCH (32:5429-5436, 2012)	Low-grade Central Osteosarcoma of the Metatarsal Bone: A Clinicopathological, Immunohistochemical, Cytogenetic and Molecular Cytogenetic Analysis.	西尾 淳	整形外科
九州リウマチ (33(1):52-55, 2013)	骨破壊を呈した非結核性抗酸菌症による手関節炎の1例	前山 彰	整形外科
Foot & Ankle International (34(3):434-438, 2013)	Assessing the safe direction of instruments during posterior ankle arthroscopy using an MRI model.	吉村 一朗	整形外科
日本人工関節学会誌 (42:313-314, 2013)	全人工肩関節置換術の中期成績	篠田 毅	整形外科
日本人工関節学会誌 (42:315-316, 2013)	修復不能な広範囲腱板断裂に対するHemiarthroplastyの治療成績	瀬尾 哉	整形外科
The American Journal of Sports Medicine (41(3):528-534, 2013)	Arthroscopic Bone Marrow Stimulation Techniques for Osteochondral Lesions of the Talus.	吉村 一朗	整形外科
整形外科と災害外科 (62(1):89-93, 2013)	特殊な変形を呈した変形性肩関節症の治療成績	南川 智彦	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科と災害外科 (62(2):298-300, 2013)	大腿骨ステム周囲骨折の治療経験	亀川 史武	整形外科
整形外科と災害外科 (62(2):301-304, 2013)	当院における外傷性股関節前方脱臼の治療経験	轟木 将也	整形外科
臨床スポーツ医学 (29(6):631-639, 2012)	上方関節唇損傷	藤沢 基之	整形外科
脳神経外科 (40(4):309-317, 2012)	頰動脈内膜剥離術におけるICG蛍光血管撮影の有用性(第2報):FLOW800システムを用いた儀閉塞・高度狭窄例の検討	大川 将和	脳神経外科
Neurosurgical Emergency (17(1):38-44, 2012)	脳底動脈急性閉塞症における緊急再開通療法 - 診断と治療成績 -	竹本 光一郎	脳神経外科
JNET(脳神経血管内治療) (6(1):3-15, 2012)	Wide-neck瘤に対するEnterprise VRDを用いたstent assisted coilingの初期成績	竹本 光一郎	脳神経外科
臨床と研究 (89(5):136-141, 2012)	ロボットスーツHAL®を用いた脳卒中超急性期リハビリテーションの適応と安全性について	濱田 緒美	脳神経外科
Neurosurg Emerg (17:166-170, 2012)	高エネルギー外傷に対するプレホスピタルケアの実態 - 今後のメディカルコントロールをいかに行うか -	重森 裕	脳神経外科
Clin Neurol Neurosurg. (Dec 26, 2012 Epub)	Quantitative evaluation using the plaque/muscle ratio index panels predicts plaque type and risk of embolism in patients undergoing carotid artery stenting.	竹本光一郎	脳神経外科
BRAIN NURSING (28(12):32-34, 2012)	ロボットスーツHAL®を用いたリハビリ	濱田 緒美	脳神経外科
JCCase (5(3):e179-e180, 2012)	Coronary artery fistulous communication.	田代 忠	心臓血管外科
J Dermatol (Vol 39(3):275-277, 2012)	Effects of rotation of topical vitamin D3 in chronic plaque-type psoriasis.	今福 信一	皮膚科
Br J Dermatol (Vol 166(3):675-678, 2012)	Cutaneous pseudolymphoma induced by adalimumab and reproduced by infliximab in a patient with arthropathic psoriasis.	今福 信一	皮膚科
J Dermatol (Vol 39(7):671-672, 2012)	Persistent cutaneous neonatal herpes caused by Herpes simplex virus-2.	今福 信一	皮膚科
J Dermatol (Vol 39 (12):1070, 2012)	Cutaneous pseudolymphoma caused by tumor necrosis factor- α inhibitors was not induced by ustekinumab.	今福 信一	皮膚科
J Dermatol (Vol 39(8):748-749, 2012)	Primary cutaneous follicle centre lymphoma with atypical morphological features on hematoxylin - eosin stained images.	古賀 文二	皮膚科
Eur J Dermatol (Vol 22(2):275-276, 2012)	Coexistence of adult T-cell leukaemia /lymphoma and psoriasis treated with cyclosporine.	古賀 文二	皮膚科
Case Rep Dermatol (Vol 42:170-173, 2012)	A pediatric case of pityriasis rubra pilaris successfully treated with low-dose vitamin A.	古賀 文二	皮膚科
Case Rep in Dermatology Medicine doi (10.1155/2012/486724, 2012)	Rhabdomyolysis due to Multiple Wasp Stings.	伊藤 宏太郎	皮膚科
Br J Dermatol (Vol 167(1):77-84, 2012)	Topical vitamin D3 analogues induce thymic stromal lymphopoietin and cathelicidin in psoriatic skin lesions.	佐藤 絵美	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
西日本皮膚科 (Vol 74(2):189-193, 2012)	尋常性乾癬治療におけるドボネックス50 μ g/g軟膏の併用による患者満足度およびアドヒアランスの変化についての研究	今福 信一	皮膚科
西日本皮膚科 (Vol 74(6):636-641, 2012)	細菌性皮膚疾患におけるナジフロキサシン軟膏1%の臨床効果と感受性	今福 信一	皮膚科
西日本皮膚科 (Vol 74(5):548-552, 2012)	蕁麻疹・湿疹皮膚炎群(湿疹・皮膚炎・皮膚そう痒症・アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒患者における塩酸フェキソフェナジンの効果と安全性(眠気)についての検討	伊藤 宏太郎	皮膚科
日本レックリングハウゼン病学会雑誌 (Vol 3(1):42-45, 2012)	神経線維腫より採取した神経線維腫細胞および肥満細胞に対するナローバンドUVBと活性型ビタミンD3の効果について	佐藤 千江美	皮膚科
日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 (29(2):148-151,2012)	腎細細胞癌に合併した副腎腫瘍の臨床的検討	横山 裕	泌尿器科
FEBS Open Bio (255-259,2012)	Tespa 1 is a novel inositol 1,4,5-triphosphate receptor binding protein in T and B lymphocytes.	田中 正利	泌尿器科
The Journal of Urology (187(5):1882-1889,2012)	Two-Layer Tissue Engineered Urethra Using Oral Epithelial and Muscle Derived Cells.	中村 信之	泌尿器科
西日本泌尿器科 (75(1):7-11,2013)	精索静脈瘤に対する顕微鏡下低位内精静脈紮術の経験	横山 裕	泌尿器科
臨床と研究 (89(7):899-903,2012)	特集 ストップザ性感染症 淋菌感染症	古屋 隆三郎	泌尿器科
臨床と研究 (89(10):1344-1349,2012)	特集 抗菌薬と抗ウイルス薬 一正しい使い方 尿路感染症	古賀 洋介	泌尿器科
泌尿器外科 (25(9):1855-1858,2012)	第100回 JUA UP DATE 尿路敗血症の診断と治療	田中 正利	泌尿器科
臨床泌尿器科 (66(7):465-472,2012)	指導的助手からみた泌尿器科手術のポイント -陰嚢内手術-	松岡 弘文	泌尿器科
化学療法の領域 (28(5):774-777,2012)	性器クラジミア感染症・男性	古屋 隆三郎	泌尿器科
Anticancer Res (Vol.32: 2271-2276, 2012)	KRAS up-regulates the expression of miR-181a, miR-200c and miR-210 in a three-dimensional-specific manner in DLD-1 colorectal cancer cells.	太田 岳晴	産婦人科
Anticancer Res (Vol 32: 2353-2358, 2012)	Clinical significance of cell-free and concentrated ascites re-infusion therapy for advanced and recurrent gynecological cancer.	植田 多恵子	産婦人科
福岡産科婦人科学会雑誌 (Vol 36(1):3-7, 2012)	子宮内膜転移をきたした進行胃癌の1例	廣田 智子	産婦人科
Molecular Cancer (Jul 25;11 (1):46,2012)	Inhibition of phosphodiesterase-4 (PDE4) activity triggers luminal apoptosis and AKT dephosphorylation in a 3-D colonic-crypt model.	角田 俊之	産婦人科
Taiwanese Journal of Obstetrics & Gynecology (Vol.51:639-642, 2012)	Percutaneous cardiopulmonary support for pulmonary thromboembolism caused by large uterine leiomyomata.	倉員 正光	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産婦人科の実際 (Vol. 61:909-912, 2012)	婦人科悪性腫瘍による腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法(CART)の臨床的意義	植田 多恵子	産婦人科
J Clin Endocrinol Metab (Vol. 97: E888-E897, 2012)	Transforming Growth Factor β 1 (TGF β 1) and Progesterone Regulate Matrix Metalloproteinases (MMP) in Human Endometrial Stromal Cells.	伊東 裕子	産婦人科
眼科臨床紀要 (6: 582-587, 2012)	男性に発症したPunctate inner choroidopathy	尾崎 弘明	眼科
臨床眼科 (66: 471-474, 2012)	獨協医大式滑車型マイボーム腺腫子が有効であった涙小管炎の1例	緒方 希	眼科
臨床眼科 (66: 659-662, 2012)	新型アデノウイルス56型による流行性角結膜炎の1例	藤田 秀昭	眼科
眼科臨床紀要 (5: 1137-1140, 2012)	黄斑部網膜下出血を生じた糖尿病網膜症の一例	光武 智子	眼科
耳鼻と臨床 (vol58:72-76, 2012)	早期喉頭癌放射線治療症例に対するオピオイド使用の検討	末田 尚之	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床 (vol58:221-226, 2012)	嚥下機能改善手術としての声帯内方移動術の手術成績	山野 貴史	耳鼻咽喉科
World J Radiol (28: 4(6): 278-282, 2012)	CT-guided radiofrequency ablation of osteoid osteoma in the long bones of the lower extremity.	吉満 研吾	放射線科
Jpn J Radiol (30(7): 560-566, 2012)	Hepatic arterial embolization for unresectable hepatocellular carcinomas: do technical factors affect prognosis ?	高良 真一	放射線科
J Magn Reson Imaging (36(3): 664-671, 2012)	MR prediction of liver fibrosis using a liver-specific contrast agent: Superparamagnetic iron oxide versus Gd-EOB-DTPA.	吉満 研吾	放射線科
AJR (199: 1010-1017, 2012)	Pseudolesion of the liver on gadoxetate disodium-enhanced MR images obtained after transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: clinicoradiologic correlation.	品川 喜紳	放射線科
Clin Neurol Neurosurg (115(8): 1298-1303, 2012)	Quantitative evaluation using the plaque/muscle ratio index panels predicts plaque type and risk of embolism in patients undergoing carotid artery stenting.	高野 浩一	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol (36(4): 1023-1029, 2012)	Warming effect on Miriplatin-Lipiodol suspension as a chemotherapeutic agent for transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: Preliminary clinical experience.	高良 真一	放射線科
新薬と臨床 (61(5): 1092-1099, 2012)	加湿ミリプラチン・リピオドール®の初期臨床効果	高良 真一	放射線科
Hepatology Research ([Epub ahead of print] 2013)	Warming effect on miriplatin-lipiodol suspension for potential use as a chemotherapeutic agent for transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: in vitro study.	高良 真一	放射線科
J Neurosurg (118(3): 632-636, 2013)	Identification of venous sinus, tumor location, and pial supply during meningioma surgery by transdural indocyanine green videography.	高野 浩一	放射線科
Jpn J Radiol (31(1): 61-64, 2013)	Rupture of jejunal varices treated with balloon-occluded retrograde transvenous obliteration.	納 彰伸	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurological Surgery (41(3): 241-246, 2013)	解離性椎骨動脈瘤により急性増悪した片側顔面痙攣の1例	高野 浩一	放射線科
日本ペインクリニック学会誌 (19(4): 482-489, 2012)	非急性帯状疱疹患者(皮疹発症30日以上)の帯状疱疹患者)への三環系抗うつ薬増量の効果	平田 和彦	麻酔科
MUSCLE & NERVE (490-495, 2012)	DYSPHAGIA IN DUCHENNE MUSCULAR DYSTROPHY VERSUS MIOTONIC DYSTROPHY TYPE 1.	梅本 丈二	歯科口腔外科
Oral Science International (9:49-54, 2012)	Treatment outcome of the two-part semi-rigid oral appliance in obstructive sleep apnea.	梅本 丈二	歯科口腔外科
Int. J. Oral Maxillofac. Surg. 42:497-501, 2013	Does Planned intravenous sedation affect preoperative anxiety in patients?	瀬戸 美夏	歯科口腔外科
Parkinsonism and Related Disorders (19 :480-482, 2013)	Effect of subthalamic nucleus deep brain stimulation on the swallowing function of patients with Parkinson's disease.	北嶋 哲郎	歯科口腔外科
Arch Gynecol Obstet (Vol 286:643-647, 2012)	Clinical significance of amphiregulin and epidermal growth factor in colostrum.	野尻 剛志	産婦人科
J Med Ultrason (Vol39 : 235-240, 2012)	Four-year experience with prenatal diagnosis of congenital heart defects at a single referral center in Japan with focus on inaccurately diagnosed cases.	吉兼 由佳子	産婦人科
Surg Today (42(11):1139-1141,2012)	Using an indwelled test tube as a good "navigator" at enterostomy closure.	廣瀬 龍一郎	小児外科
日小外会誌 (48(7):1047-1050.2012)	腹壁部分欠損を伴った先天性上腹壁筋低形成の1例	川久保 尚徳	小児外科
小児感染免疫 (2012;24:279-284, 2012)	出下時の皮疹が診断の契機となった先天性カンジダ症の2例	太田 栄治	総合周産期母子医療センター
J Infect Chemother (2012) 18: 534-543)	A randomized, controlled trial comparing traditional herbal medicine and neuraminidase inhibitors in the treatment of seasonal influenza.	鍋島 茂樹	総合診療部
Virchows Arch (461(4): 457-466, 2012)	Expression patterns of emmprin and monocarboxylate transporter-1 in ovarian epithelial tumors.	福岡 三代子	病理部
Virchows Arch (461(5):513-9, 2012)	Invasion of the inner and outer layers of the visceral pleura in pT1 size lung adenocarcinoma measuring ≤ 3 cm: correlation with malignant aggressiveness and prognosis.	濱崎 慎	病理部
Diagn Cytopathol (40:701-707, 2012)	A multivariate statistical study to obtain effective criteria to detect well-differentiated adenocarcinoma in endometrial cytology.	松本 慎二	病理部
J Infect Chemother (vol.18:199-206,2012)	Methicillin-resistant Staphylococcus aureus bloodstream infections in a Japanese University Hospital between 1987 and 2001.	松永 彰	臨床検査部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinica Chimica Acta (vol.415:250-254,2013)	Clinical application of different cross-reactivities of anti-insulin antibodies to insulin lispro to evaluate endogenous insulin secretion.	大久保久美子	臨床検査部
Bacterial Adherence & Biofilm (vol.26:83-88, 2012)	本邦で分離された多剤耐性アシネトバクター (Acinetobacter baumannii) のバイオフィルム形成能に関する検討	松永 彰	臨床検査部
臨床病理 (Vol60(12)1139~1144, 2012)	分析装置STACIAを用いた凝固分子マーカー検査における検体保存温度・方法の影響	八戸 雅孝	臨床検査部
JJCLA (Vol 38(3)318~325, 2013)	血液ガス分析装置ABL90FLEXの基礎的検討およびシステム運用	井本 祐司	臨床検査部
医療薬学 (38(5)299-303, 2012)	福岡大学病院における薬の経管投与に関する現状と問題点	簗原豪人	薬剤部
薬学雑誌 (132(6)769-775, 2012)	副作用報告に関する実務実習教育プログラム	山本知佳	薬剤部

小計 6

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

合計 213

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 山下 裕一		
管理担当者氏名	庶務課長 菊池 孝志	医療管理課 藤井 直彦	
	医事課長 青柳 征一	医療情報部事務室長 金森 勝俊	
	薬剤部長 二神 幸次郎	放射線部副技師長 田中 稔	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課、医療情報部、放射線部、薬剤部、手術部、看護部、臨床検査部、病理部	<p>・平成21年8月5日から、入院診療録、外来診療録とも電子カルテシステムの運用を開始。電子カルテシステムは全て患者登録番号で管理。紙での保管を要する診療記録については、電子カルテシステム稼働以前と同じ保管形式を採用。電子カルテシステム稼働以前の入院診療録は、入院期間毎に作成され、ターミナル・デジタル方式にて分類保管。外来診療録は、各科共通として患者ごとに作成され、登録番号順に保管。入院診療録は最終来院日から20年間、外来診療録は15年間保管。入院診療録の病歴データは病歴管理システムの部門サーバに保存。</p> <p>処方せん：薬剤部内で保管し2年を経過後月単位で廃棄</p> <p>薬剤管理指導記録：PICS（薬剤管理指導支援システム）から電子カルテに送信、各患者カルテに保管。同記録はPICS上でも確認可能。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	先進医療実績報告（帳票管理）
	高度の医療の提供の実績	医療管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課	
	高度の医療の研修の実績	庶務課	
	閲覧実績	庶務課 医療情報部	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療管理課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療管理課 医事課 薬剤部	平成24年度紹介率集計表（帳票管理） 入院患者日報・月報・年報 外来患者日報・月報・年報（帳票管理）
第規一則号第一に掲げる十の十一の制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	医療安全管理部にて一括管理 以下項目、上記と同じ
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	

の一項 確保各 の号 状及 況 び 第九 条の 二十三 第一 項	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療安全管理 部	感染制御部にて管理 医療安全管理部にて一括管 以下項目、上記と同じ
	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療安全管理 部	
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療安全管理 部	
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況	医療安全管理 部	

		保管場所	分類方法	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則 第一 条の 十一 第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三 第一 項第 一号 に掲 げる	院内感染のための指 針の策定状況	庶務課及び感染制御部にて管理 以下項目、上記と同じ	
		院内感染対策のため の委員会の開催状況		庶務課、感染 制御部
		従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況		庶務課、感染 制御部、医療 安全管理部
		感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善のための方策の 実施状況		庶務課、感染 制御部
		医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	薬剤部	薬剤師長が医薬品安全管理責任 者に任命されている 薬剤部にて一括管理 以下項目、上記と同じ
		従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善のための方策の 実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	臨床工学セン ター	臨床工学センターにて一括管理 以下項目、上記と同じ	

体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務長 奥 菌 邦 広
閲覧担当者氏名	庶務課長 菊池 孝志、医事課長 青柳 征一 医療情報部事務室長 金森 勝俊
閲覧の求めに応じる場所	病院B会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医 師	延	0件
	歯 科 医 師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.0%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数	14,194人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,959人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,549人		
D: 初診の患者の数	27,157人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理のための委員会および院内の組織に関する基本事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした改善策を講ずるための基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 (下記参照) 回
・ 活動の主な内容： 1. 医療安全管理委員会 (月に 1 回) 2. 医療安全管理部小委員会 (月に 2 回) 3. セーフティマネジャー会 (月に 1 回) 4. 医療安全カンファレンス (週に 1 回)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 2 回
・ 研修の主な内容：別紙参照 (平成 2 4 年度 安全管理のための職員研修一覧)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① 医療事故・合併症・重要なインシデント事例の検討・医療安全教育の企画・医療相談窓口で対応した事例について毎週医療安全カンファレンスを開催している。② 医療安全管理者が抽出したインシデント事例を医療安全管理部小委員会で検討し、改善を要するものはセーフティマネジャー会を通じ伝達している。また、全職員にコンピュータ上で会議資料を公開し、安全管理・危機管理意識の向上に努めている。③ 医療安全管理部長又は医療安全管理者は、事故・インシデント・合併症発生時など、必要に応じ当事者、当該部署と個別に対応し指導する。特に重要事例に関しては、検討会を開いて、迅速な対応を心掛けている。④ 病院全体の問題として取り上げる必要がある事例は、医療安全管理委員会に提言し、安全管理の改善に役立てる。⑤ 「安全管理レポート」(毎月)と「医療安全情報」(適時)を発行し、全職員へフィードバックおよび周知徹底を図っている。⑥ 医療安全管理院内ラウンドを月 1 回実施し、現状把握およびフィードバックを行っている。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任 (6) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容：《医療の安全管理》以下 7 項目 ① 安全管理に係る会の運営② 医療事故発生時の対応③ 医療安全に係る連絡調整④ 医療事故防止に向けた内部監査⑤ インシデント報告・アクシデント報告の分析⑥ 安全管理に関する教育・研修⑦ 安全管理レポート・医療安全情報の発行《患者からの相談》以下 4 項目 ① 治療上の問題に関する事柄② 入院及び退院に関する事柄③ 生活面及び経済的な問題に関する事柄④ 相談内容に応じた関係部署及び関係機関との連絡調整に関する事柄	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

平成24年度 安全管理のための職員研修一覧

(1)医療安全院内教育

開催日	内 容	講 師	対 象	参加者数	場 所
2012年4月20日	情報セキュリティ	志村英生 (医療情報部長)	全職種	1,270	RI講義棟
2012年5月2日	平成23年度報告		全職種	1,430	RI講義棟
	1)インシデント・アクシデント報告	1)前田知恵美 (医療安全管理者)			
	2)疑義照会	2)鷺山厚司 (医薬品安全管理責任者)			
	3)接触予防策	3)橋本文代 (感染制御部)			
2012年9月21日	1)結核の感染対策 2)治験・臨床研究の被験者に対する安全性の確保	1)藤田昌樹 (呼吸器内科准教授)	全職種	1,239	RI講義棟
		2)野田慶太 (臨床研究支援センター教授)			
2012年10月11日	深部静脈血栓症／肺血栓塞栓症予防	湯沢千穂 (日本コヴィディエン株式会社)	全職種	842	RI講義棟
2012年11月19日	医療現場で考える耐性菌対策	森澤雄司 (自治医科大学附属病院感染制御部長)	全職種	956	RI講義棟
2013年1月15日	暴言・暴力対応	早良警察署	全職種	628	RI講義棟
2013年2月15日	福大病院 vs 九大病院 KAIZEN 再評価後の報告	福岡大学経済学部学生	全職種	287	RI講義棟
			合計	6,652	

※ DVD視聴研修を含む

(2)医療安全実践セミナー

開催日	内 容	講 師	対 象	参加者数	場 所
2012年5月7日	インスリン療法(オートガード取扱い)	内分泌・糖尿病内科医師・看護師、BD	全職種	51	多目的室
2012年6月4日	輸血療法:シリンジ輸液ポンプの使用法	輸血部、テルモ	全職種	68	多目的室
2012年7月9日	懸濁法とハイリスク薬	薬剤部	全職種	57	多目的室
2012年8月6日	検体検査の正しい採取法	臨床検査部	全職種	55	多目的室
2012年9月3日	シュアプラグの正しい使用法	テルモ(株)	全職種	62	多目的室
2012年10月16日	弾性ストッキングの使用法	コヴィディエンジャパン(株)	全職種	52	多目的室
2012年11月5日	吸引法の正しい手順	スミス・メディカルジャパン(株)	全職種	53	多目的室
2012年12月7日	クレーム対応	医療安全管理部	全職種	77	多目的室
2013年1月11日	酸素の正しい取り扱い	臨床工学センター	全職種	52	多目的室
2013年2月8日	放射線検査時の注意事項	放射線部	全職種	47	多目的室

(3)BLS (Basic Life Support) 講習会

開催日	内容	講師	対象	参加者数	場所
2012年10月30日	成人に対する心肺蘇生法、AED(自動体外除細動器)使用方法の習得	救命救急センター医師・看護師、 臨床工学技士	全職種	24	多目的室
2012年11月29日	同上	同上	全職種	25	多目的室
2012年12月20日	同上	同上	全職種	18	多目的室
2013年1月22日	同上	同上	全職種	30	多目的室
2013年2月26日	同上	同上	全職種	25	多目的室

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会および院内の組織に関する基本事項 3. 感染対策に関する教育・研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応 6. 感染対策の閲覧に関する基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策委員会 (1回/月) ・ 感染制御部会議 (1回/月) ・ セーフティマネジャー会議 (1回/月) ・ 看護部部内感染対策委員会 (1回/月) 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成24年5月2日「福岡大学病院の接触予防策の現状と対策」感染制御部師長 橋本文代 平成24年9月21日「新しい結核院内感染対策」呼吸器内科学 藤田昌樹 平成24年11月19日「医療現場で考える耐性菌対策」自治医科大学病院 感染制御部 森澤雄司 (医療安全実践セミナー) 平成24年5月7日「ペン型インスリンオートガード(安全防護機能針)の取り扱い」 平成24年9月3日「吸引法の正しい手順」 平成24年11月5日「輸液ラインの正しい使用方法」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回/週 ICT (ICD, ICN, 細菌検査技師, 薬剤師) が病棟ラウンドを行い、耐性菌サーベイランスを実施する。病棟ラウンドに際しては、資料(細菌検査室で全部署2週間分の分離菌一覧表、薬剤部で抗MRSA使用患者一覧表、カルバペネム系抗菌薬使用患者一覧表、ICNが病棟別耐性菌検出患者一覧表、ラウンドシート)を準備する。 2. 環境ラウンドの実施とフィードバック(病棟部門、外来部門)(5月, 8月, 11月, 1月, 3月) 3. 感染対策システム(電子カルテ端末上)で毎日、血液培養陽性者、抗酸菌陽性者、新規多剤耐性菌検出患者等の報告を確認する 4. 院内感染を疑う場合には、感染制御部内で連携し、関連部署と調整し対応する 5. 行政への報告対応が必要な場合は、感染対策危機管理委員会を召集し事態の收拾を図る 6. アウトブレイク等問題が発生した部署については、当該部署のスタッフを対象に研修会を開催する。アウトブレイク介入事例については、病院職員に対して、電子カルテ端末上で通知、診療部長会セーフティマネジャー会を通して感染対策について周知徹底を図る。 	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容： ・ 毒薬、劇薬について ・ インスリン療法 ・ 簡易懸濁法とハイリスク薬 ・ 知っておくべき薬剤の知識 ・ 耐性菌対策	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： ○ 医薬品の採用；薬事委員会において採用可否審議（薬剤部は事務局）、医薬品安全管理責任者は委員として参加 ○ 医薬品の管理；期限管理等を確認表を用いて各部署にて確認。月単位で医薬品安全管理責任者が確認。新規の重点管理薬に対しての手順策定など。 ○ 患者に対する医薬品の投薬時から調剤までに関する事項 ；ハイリスク薬品の調剤手順に従って調剤等。病棟巡回などで確認 ○ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ；バーコードによる3点認証導入。薬剤管理指導の推進（持参薬管理から退院時指導まで） ○ 医薬品情報の収集・管理・提供 ；医薬品情報室による情報収集と必要に応じた情報の提供推進。特に安全性にかかわる情報の発信 ○ 他施設との連携；持参薬管理による持ち込み医薬品の確認。退院時指導による入院中使用医薬品、副作用等の情報をおくすり手帳を介して提供する体制作り	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ◎ 薬剤部医薬品情報室が中心となって収集作業を行う ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 病棟担当薬剤師を使い、簡易懸濁法、禁忌薬設定方法の伝達 ・ 外観が似ている医薬品の取り違えに対し、片方の配置棚変更	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年118回
・ 研修の主な内容： 新しい医療機器導入時研修 50回 安全使用のための研修・学会・医療機器セミナー68回：主な内容は シリンジ・輸液ポンプの安全使用、内視鏡機器、酸素療法機器、人工呼吸器、血液浄化装置、生体情報モニター、除細動器、保育器、補助循環装置、麻酔器、大動脈内バルーンポンプ装置、電気メス、低圧持続吸引器、体温維持管理装置、人工臓器、パルスオキシメーター	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、シリンジ、輸液ポンプ、麻酔器、低圧持続吸引器、放射線関連装置 12誘導心電計、テレメータ、ベッドサイドモニター、パルスオキシメーター	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 情報収集：医薬品医療機器総合機構、日本臨床工学技士会、日本医療機能評価機構、日本医療安全調査機構、その他学会による安全情報の収集、メーカーによる安全情報の収集 情報の周知：院内セーフティマネージャー会による周知 院内オーダーリング画面上に安全情報の掲載 関連部署への資料配布 医療機器の安全使用：臨床工学技士の研修、医療従事者への説明会	